

2019年度 第68回全日本大学サッカー選手権大会

展望

OFFICIAL MATCH DAY PROGRAM

NO.1

発行：一般財団法人 全日本大学サッカー連盟

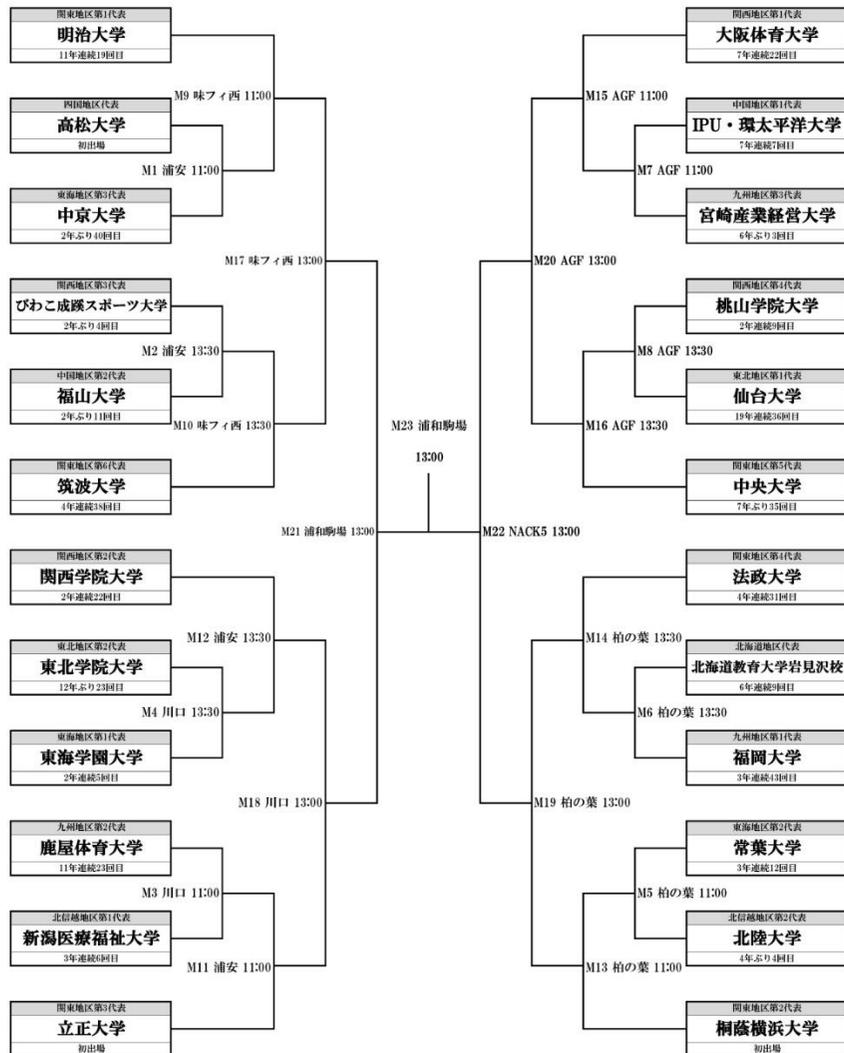
協力：内藤悠史、森田将義



2019年度 第68回全日本大学サッカー選手権大会



1回戦	2回戦	準々決勝	準決勝	決勝	準決勝	準々決勝	2回戦	1回戦
12月11日 (木)	12月14日 (土)	12月16日 (月)	12月19日 (木)	12月22日 (日)	12月19日 (木)	12月16日 (月)	12月14日 (土)	12月11日 (木)



明治大学 高松大学 中京大学 びわこ成蹊スポーツ大学 福山大学 筑波大学

浦安・味フィ西ブロック
文 森田将義

浦安・味フィ西ブロックは、総理大臣杯王者である明治大学が頭一つ抜けている。今季は、前線からの統率がとれた守備が武器で関東リーグでは最少失点を記録。MF 森下龍矢(4年・鳥栖内定)と DF 中村帆高(4年、FC 東京内定)のサイド攻撃が機能し、3節を残しての優勝を達成した。FW 佐藤亮(4年)が「誰が出ても同じサッカーができる」と胸を張る選手層の厚さも短期決戦向きで、夏冬連覇への視界は良好だ。

明大への挑戦権をかけた、高松大学と中京大学の一戦は、中京大の優勢が予想される。総理大臣杯では2回戦で涙を飲んだが、MF 辻泰志(4年)と加藤弘也(3年)を中心とした攻撃の怖さは十分。夏はコンディションが万全ではなかったFW 東家聡樹(4年・福岡内定)の存在もプラスに働かろう。初出場の高松大は苦戦が予想されるが、持ち味である粘り強い守備からのカウンターで、四国代表の維持を見せたいところだ。

反対の山は、筑波大学の戦力の充実ぶりに目をみはる。GK 阿部航斗(4年・新潟内定)、

DF 山川哲史(4年・神戸内定)、MF 高嶺朋樹(4年・札幌内定)、FW 三苫薫(4年・川崎 F 内定)と、縦のラインに J 内定選手が揃う構成は大会でも屈指のタレント揃いだ。関東リーグでは苦戦し、6位に低迷。総理大臣杯も2回戦敗退と不本意な結果で、MF 加藤潤(4年)は「今年の結果は目指していたものと大きく異なる。最後、どの大学よりも勝ちたいという気持ちを前面に出して頑張りたい」と意気込みを口にする。

びわこ成蹊スポーツ大学と福山大学のカードも魅力的な組み合わせだ。前者は、DF 森昂大(2年)を中心とした粘り強い守備からの速攻が光るチーム。主将のFW 井上直輝(4年)と青山景昌(4年)の2トップの決定力次第では、上位進出を狙える。勝ち上がれば、総理大臣杯で大敗した法政大学と再戦できるのも励みになるだろう。後者は MF 泉勇也(3年)や FW 崎山誉斗(3年)といったアタッカー陣が目目で、番狂わせを虎視眈々と狙っている。

関西学院大学 東北学院大学 東海学園大学 鹿屋体育大学 新潟医療福祉大学 立正大学

川口・浦安ブロック
文 内藤悠史

川口・浦安ブロックでは、4年前の王者で2年連続出場となる関西学院大学、そして初出場の立正大学が2回戦から登場する。1回戦エントリーの4大学も実力校揃い。熱戦必至、注目のブロックだ。

1回戦では、12年ぶりの出場を果たした東北学院大学と、東海リーグで2連覇を果たした東海学園大学が激突。東北学院大は昨季の総理大臣杯に続いて、2年連続での全国大会出場となる。松原悟監督は「厳しい試合と覚悟しているが、粘り強く戦いたい」と初戦への意気込みを語っている。対する東海学園大は、初戦敗退に終わった前回大会のリベンジを狙う。安原成泰監督は「まずは初戦突破を目標に、ボールを保持して崩すスタイルを貫き全力で挑みたい」と抱負を述べていた。

もう1試合では、11年連続出場の鹿屋体育大学と3年連続6回目出場の新潟医療福祉大学が対戦。鹿屋体育大は前回、初戦で桃山学院大学に0-2と敗れた。今大会では優勝を狙い、まずは初戦突破に挑む。主将のDF 奥田雄大(4年・徳島内定)は「積み上げ

てきたものを出せるように」と、自分たちのスタイルを貫くと誓っていた。対する新潟医療福祉大は「シーズン当初から、全国大会でのベスト8を目標に」(佐熊裕和監督)掲げて戦ってきた。総理大臣杯では目標を達成できなかっただけに、今大会に懸ける思いは強い。鹿屋体育大の奥田、新潟医療福祉大のFW 矢村健(4年・新潟内定)、DF 喜岡佳太(4年・長野内定)と、Jクラブ内定者の活躍にも注目だ。

そして2回戦から登場するのが関西学院大だ。関西リーグ制覇は逃したものの、G 大阪加入内定のMF 山本悠樹(4年)を中心に各ポジションに実力者を揃える。主将のDF 竹本将太(4年)は「日本一」を目標に掲げ、「目の前の試合に全ての力を出し切って、必ず勝つ」と意気込んでいた。

立正大は関東1部初参戦の今季、3位に躍進。インカレ初出場を果たした。杉田守監督は「関東リーグを勝ち抜いた自信を胸に、臆することなく全力で戦う」と抱負を語っている。関東を席捲した攻撃サッカーで、まずは初戦突破を目指したい。

大阪体育大学 IPU・環太平洋大学 宮崎産業経営大学 桃山学院大学 仙台大学 中央大学

AGF ブロック
文 森田将義

AGFブロックは、本命不在でどこが勝ち上がっても不思議ではない。最注目は、関西王者の大阪体育大学。攻撃をけん引するMF西田恵(4年・金沢内定)とFW林大地(4年・鳥栖内定)の二枚看板だけでなく、守備にもDF林尚輝(3年)といった実力者が揃い、関東勢と張り合うだけの力を秘めている。一方で、攻守の要であるMF田中駿汰(4年・札幌内定)がSAMURAI BLUE(日本代表)に選出され、『EAFF E-1 サッカー選手権 2019』に参加するため決勝まで合流できないのは不安要素。チーム全体で、田中の不在を感じさせない戦いを披露できるかが戦いの鍵となる。

対抗となるのは、主将のMF宮城和也(4年)、中村亮太郎(4年・甲府内定)、大久保智明(3年・浦和内定)による中盤の構成力が目を惹く中央大学だ。前線に金沢内定のFW加藤陸次樹(4年)がいるのも心強く、宮城は「7年ぶりのインカレという舞台を楽しみながら、日本一を狙いにいきます」と力強く宣言する。

このブロックは一発を持った地方の強豪が集

う点が魅力だ。「個性の強いメンバーが多く、チーム全員で連動した守備や攻撃で試合展開できるのが強み」と話すのはIPU・環太平洋大学の主将DF土居晃輝(4年)。前線にも馬力十分のFW赤木直人(4年)がおり、躍進を果たしても不思議ではない。宮崎産業経営大学も攻守の切り替えの速さが光る好チームで、主将のMF前田椋介(4年・福島内定)は「1試合1試合全力を尽くす」と一戦必勝を誓う。

桃山学院大学は、関西リーグを5連勝で終え、勢いに乗った状態でインカレに挑む。MF今吉晃平(4年)を中心に最後まで走り切るサッカーが持ち味で、FW毎熊晟矢(4年・長崎内定)と山口海都(2年)の2トップが本来の力を発揮できれば、上位も見えてくる。仙台大学は、すでにJリーグで活躍するMF松尾佑介(4年・横浜FC内定)の存在が強みだ。主将のMF嵯峨理久(3年)やFW岩淵弘人(4年)を含めた攻撃は得点の匂いが濃厚なだけに、守備の踏ん張りどころがポイントになりそうだ。

法政大学 北海道教育大学岩見沢校 福岡大学 常葉大学 北陸大学 桐蔭横浜大学

柏の葉ブロック
文 内藤悠史

柏の葉ブロックでは、2回戦から前年王者の法政大学、そして初出場の桐蔭横浜大学が登場。関東勢への挑戦権を懸け、1回戦では各地区の実力校同士が激突する。

6年連続出場の北海道教育大学岩見沢校は前回大会、2回戦で早稲田大学に0-1と惜敗。関東王者と接戦を繰り広げたものの、1点に泣き準々決勝進出を逃した。リベンジに燃える今大会、主将のDF遠藤祐馬(4年)は「ベスト8を目標に、1試合でも多く戦いたい」と意気込んでいる。一方の福岡大学は3年連続の出場。九州リーグ3連覇を果たした名門が、満を持して全国制覇に挑む。乾真寛監督は「地方大学からの日本一、インカレ日本一が悲願」と語っている。

1回戦のもう1試合では、3年連続出場の常葉大学と、4年ぶりに出場権を掴んだ北陸大学が激突。常葉大は前回、延長戦の末に初戦敗退を喫した。主将のFW田野雅大(4年)は「史上最高成績のベスト8以上を目標に」臨むとコメント。リーグ最少失点の堅守をベースに、一発勝負のトーナメントを勝ち進みたいところだ。対するは、

北信越地区第2代表の北陸大だ。今季は石川県代表として天皇杯に出場し、初戦を突破。2回戦ではJ1鹿島に1-3と敗れたが、貴重な経験を積んだ。主将のDF高嶋由哉(4年)は「攻撃的なサッカーで勝利を掴みたい」と、初戦に向けて抱負を語る。鹿島からもゴールを奪った攻撃力で、旋風を巻き起こせるか。

そして、2回戦から登場するのは前回王者の法政大だ。今季はリーグ戦、総理大臣杯とタイトルを逃しており、連覇が懸かる今大会への思いは強い。主将のDF加藤威吹樹(4年)は「まずは何が何でも勝利にこだわって、チームの勢いを持てるように」と、短期決戦の初戦を見据えていた。

そして関東地区からはもう1校、今季2位に躍進した桐蔭横浜大がエントリ。ハードワークを標榜し、川崎内定のイサカゼインらを中心に安定した戦いを見せてきた。初出場となる今大会、主将のDF眞鍋旭輝(4年)は「自分たちのサッカーを魅せていきたい」と抱負。関東代表としてのプレッシャーもあるが、躍進に期待したい。

◆ 販売物情報 ◆

大会公式プログラム

1部/1000円(税込み)

出場全大学の登録選手の紹介など、

インカレを楽しむための情報が盛りだくさん!!

そして巻頭企画では、総理大臣杯覇者の明治大学主将の佐藤亮選手と
FC東京所属の三田啓貴選手のスペシャル対談を掲載。

各会場のプログラム販売所にてお買い求めいただけます。



☆ 出場全大学のユニフォーム型ストラップ ☆

1個/500円(税込み)

第68回大会にちなんで「68th ALL JAPAN UNIVERSITY CHAMPIONSHIP」の特別仕様!

☆ Jクラブ内定者名前&背番号入りユニフォーム型ストラップ ☆

※内定者のユニフォーム型ストラップは決勝戦のみの販売となります。

詳しくは販売所スタッフにお尋ね下さい。

※ご購入いただく際には準決勝までの間に”事前予約”が必要です。

※ご購入は各試合日お一人様3個までとさせていただきます。



【決勝 12/22】 Jクラブ内定者サイン会開催

関東大学サッカーリーグからJクラブに来季加入が内定した選手のサイン会を開催します!

どなた様もご参加いただけるイベントですので奮ってご参加ください♪

未来のJリーガーたちの、貴重な大学時代のサインを逃すな!!

○日時：12月22日(日) 決勝戦(13:00KICKOFF)の終了後

○会場：浦和駒場スタジアム 場外広場

※準決勝終了後にサイン会参加選手を発表します。直前に変更となる可能性もございますので、ご了承ください。

◆Twitter: @JUFA_soccer

全会場・全試合リアルタイム速報



◇Instagram: @jufa_japan

大会期間中の感動の名シーンの振り返り



◆公式HP

www.jufa.jp

随時、情報をお知らせ

